

恒温槽の JCSS 校正

校正結果は、ILAC/APACのMRA（相互承認取決）を通じて、国際的に受け入れられます。

■ 対象測定器

恒温槽・試験槽・保管庫・オープン等



写真提供：楠本化成株式会社エタック事業部

■ 校正範囲及び校正の不確かさ

種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約95%)
指示計器付温度計 (恒温槽装備)	-30 °C 以上 200 °C 以下	0.25 °C

JCSS校正では、恒温槽が装備する指示計器付温度計の校正を行います。
校正位置は恒温槽センサの近傍または槽内任意位置（中央など1点以上）となります。
湿度は一般校正にて対応いたします。
表内の拡張不確かさ算出には『周囲温度変動の影響』は含みません。

各種規格対応の試験（ご利用に際しては条件がありますので、事前にご相談ください。）

JIS C 60068-3-5、60068-3-6、JTM規格などに対応します。

試験内容：温度分布、温度変動、空間温度偏差、温度こう配、温度変化速度 など

■ 校正のご利用方法



日本電気計器検定所 九州支社 標準課

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原2丁目1番40号

TEL : 092-541-3033 FAX : 092-541-3036

E-Mail : kousei-fko@jemic.go.jp URL : <https://www.jemic.go.jp>